

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2002 年 7 月 11 日 (11.07.2002)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 02/053737 A1

- (51) 国際特許分類: C12N 15/12, (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 旭化成株式会社 (ASAHI KASEI KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒530-8205 大阪府 大阪市北区 堂島浜一丁目 2 番 6 号 Osaka (JP).
- C07K 14/47, 16/18, C12N 1/15, 1/19, 1/21, 5/10, A61K 31/7088, 38/02, 39/395, 45/00, 48/00, A61P 29/00, 35/00, 37/00, C12Q 1/68, C12N 9/00, G01N 33/15, 33/50, 33/53, 33/577, 33/68
- (21) 国際出願番号: PCT/JP01/11389 (72) 発明者; および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 松田 昭生 (MAT-SUDA, Akio) [JP/JP]; 〒417-0061 静岡県 富士市 伝法 3629-1-404 Shizuoka (JP). 本田 剛一 (HONDA, Goichi) [JP/JP]; 〒416-0945 静岡県 富士市 宮島655-9 Shizuoka (JP). 村松 周治 (MURAMATSU, Shuji) [JP/JP]; 〒416-0931 静岡県 富士市 蓼原17-13 Shizuoka (JP). 長野 由希子 (NAGANO, Yukiko) [JP/JP]; 〒410-8501 静岡県 沼津市 下河原町29-5 Shizuoka (JP).
- (22) 国際出願日: 2001 年 12 月 25 日 (25.12.2001)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2000-402288 2000 年 12 月 28 日 (28.12.2000) JP (74) 代理人: 平木 祐輔 (HIRAKI, Yusuke); 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門一丁目 17 番 1 号 虎ノ門5森ビル 3 階 Tokyo (JP).
特願 2001-88912 2001 年 3 月 26 日 (26.03.2001) JP
特願 2001-254018 2001 年 8 月 24 日 (24.08.2001) JP

[続葉有]

(54) Title: NF-KB ACTIVATING GENE

(54) 発明の名称: NF- κ B 活性化遺伝子

(57) Abstract: A protein having an NF- κ B effect to be used in, for example, diagnosing, treating or preventing diseases in which the excessive activation or inhibition of NF- κ B participate. From a cDNA library prepared from human lung fibroblasts, etc., a cDNA encoding a protein having an effect of activating NF- κ B is cloned by using a plasmid pNF- κ B-Luc and its DNA sequence and an amino acid sequence deduced therefrom are determined. This protein, DNA encoding the same, a recombinant vector containing this DNA and a transformant having this recombinant vector are usable in screening an NF- κ B activation inhibitor or promoter.

(57) 要約:

NF- κ B の過剰な活性化または阻害が関与する疾患の診断、治療または予防等に使用される NF- κ B 作用を有するタンパク質の提供する。

ヒト肺線維芽細胞等から作製した cDNA ライブラリーから、プラスミド pNF- κ B-Luc を用いて、NF- κ B を活性化する作用を有するタンパク質をコードする cDNA をクローニングして、その DNA 配列およびそれより推定されるアミノ酸配列を決定した。同タンパク質、これをコードする DNA、同 DNA を含有する組換えベクターおよび同組換えベクターを含有する形質転換体は、NF- κ B の活性化を阻害または促進する物質のスクリーニングに使用される。